

## 2. 病理講習会 「口腔粘膜上皮内癌の診断について 食道、子宮頸部の診断基準との比較」

はじめに

大阪大学大学院歯学研究科 口腔病理学教室 豊澤 悟

大阪歯科大学 口腔病理学教室 田中昭男

口腔粘膜の前癌病変および上皮内癌の病理診断は、世界に共通する明確な診断基準は無く、依然として議論が多いのが現状である。口腔粘膜の上皮内癌の診断基準については、WHO 分類（2005 年）によると「著明な細胞異型を伴う上皮全層ないしはほぼ全層に及ぶ構造異常」と記載があり、従来から子宮頸部上皮内癌の診断基準を模倣したかのように捉えられてきた。しかし、口腔粘膜では、子宮頸部や食道のように異型細胞が全層を占めるタイプ（全層置換型）の上皮内癌の発生頻度は低く、全層置換型以外に上皮内限局病変で悪性と判断する上皮異形成病変の存在が指摘されており、子宮頸部や食道の診断基準に準ずることに疑問がもたれている。今回の講習会では、口腔粘膜上皮内癌の診断基準の現状を説明し、他臓器病変と比較することにより、発生母地の異なる扁平上皮性病変の共通点や臓器特異性などを再認識するとともに、口腔粘膜上皮内癌の病理診断の問題点なども指摘・議論されることを期待したい。

